

## 第12回（昭和60年度）日産学術研究助成候補推薦募集

### 1. 助成の趣旨

自然科学を主とする学術の有意義な研究であって、先駆的かつ独創的なもの、また学際的なグループによって行われるものに対し助成を行い、わが国の基礎学術の向上、進展に寄与しようとするものであります。

### 2. 助成対象研究分野

助成対象を資源・エネルギー、環境の分野の基礎研究、および応用研究とし、本年度は当該分野のうち次のような研究を期待します。

なお、極めて創意性に富むもので、これを実証する研究業績によって将来の発展が見込まれる萌芽的研究に対しては一般研究助成（B）とし、また必ずしも実験を伴う研究のみでなく、いわゆるソフトの研究に対しては調査研究助成として扱います。

- ① 高等生物のバイオサイエンス
- ② 環境の改変の生態系に及ぼす影響

- ③ 生物指標による人間環境の評価
- ④ 新しい原理に基づく環境の分析と制御の方法
- ⑤ 環境汚染物質の複合効果とその機構
- ⑥ 有害生物の無公害駆除法
- ⑦ 環境の自然浄化機構
- ⑧ 新しい機能材料
- ⑨ 人間—機械系の解析による安全性向上
- ⑩ ソフト・エネルギーの開発と利用
- ⑪ 海洋の利用
- ⑫ その他上記に類する研究

### 3. 助成対象の研究者

貴学(協)会に関する自然科学分野の研究に従事しており、1～3年を要する上記の研究を行おうとする研究者および研究グループで、その研究成果が学術の進歩、発展に貢献するところが大きいと思われるもの。

### 4. 研究助成金額と助成件数

区分 要項	一般研究助成		調査研究助成
	(A)	(B)	
助成対象	研究期間が長期にわたる研究、学際的グループ研究等 助成期間は2～3年*	極めて創意性に富む萌芽研究 助成期間は1年**	ハードな研究を前提とする調査研究（研究計画の評価、有効な研究方法の探究等） 助成期間は1～2年
助成金総額 (1件の金額)	約 200,000千円 (上限 30,000千円)	約 40,000千円 (上限 3,000千円)	約 10,000千円 (上限 4,000千円)
採択件数	10件程度	15件程度	3件程度
助成金の支払期間	昭和61年度(61/4～62/3)を助成第1年度とし、研究計画に従い年度毎に所要額を交付	昭和61年度に交付	昭和61年度を第1年度とし、研究2年にわたるものは年度毎に所要額を交付
助成金の使途条件等	—	—	主として調査、討議等に要する費用

注) \* 研究の性質上、特に必要な場合は研究が4年にわたることを認めます。

\*\* 研究の性質上、研究期間が2年にわたるものを認めます。

### 5. 推薦件数

助成区分を通じ1学・協会より1～3件とします。

### 6. 推薦者

学・協会の代表者とします。

### 7. その他

- ① 候補者は必ずしも貴会会員であることを要しません。
- ② 助成金の受領者に対しては、研究経過および研究

結果の報告を求めますが、そのほかには特に条件はつけません。

- ③ 助成金受領者には将来、研究成果の発表をお願いする予定でありますのでご承知おき下さい。

(担当理事) 竹内 清秀

〒100 東京都千代田区麴町 4-5

日本気象協会中央本部

TEL. (03) 230-0381(代)